

## お客様へのお願い

この度は、スバル純正ディスプレイコーナーセンサーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、いつもお手元において、正しい取扱い方法により、長くご愛用くださるようお願い申し上げます。

尚、取り付けミスを避ける為、取り付けはスバル特約店または、スバル特約店が指定した販売店でお願いいたします。

本書の中で使用されている記号とその意味は次のとおりです。



安全のために  
注意していた  
きたいこと



知っておくと  
便利なこと



お車のために  
守っていただ  
きたいこと

## ご使用にあたっての注意事項

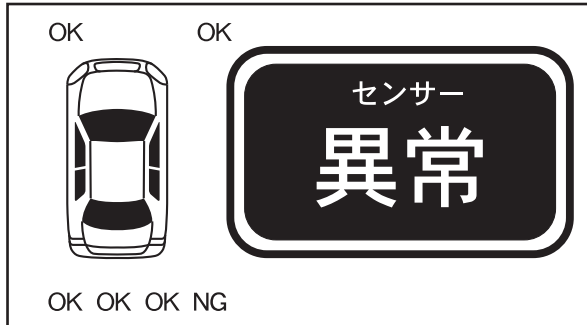
**⚠️ 注意**

- (1) ディスプレイコーナーセンサーは、すぐに停止できるようなゆっくりした速度で車庫入れ、縦列駐車、幅寄せ、狭い道路の運転などをする場合に、近距離の障害物とのおおよその距離を検知し、運転者にディスプレイへの画面表示とブザー音でお知らせする装置です。ディスプレイにはMFD(マルチファンクションディスプレイ)又はオプションナビを使用でき、本製品取り付け時にご選択ください。又、カメラが取り付けられているかどうかによりディスプレイへの表示が変わります。
- (2) この装置は、運転者の距離感覚を補助する装置であり、運転者の注意義務を軽減する物ではありませんのでご使用の際は、常に周囲の安全を確認の上、運転してください。
- (3) この装置で検知可能な障害物は限られています。また、障害物との距離については「目安」であり実際の距離とは異なる場合があります。障害物によってはセンサー検出しなかったり(画面表示とブザー音がなかったり)、逆に障害物がないのにセンサー検出してしまおう(画面表示とブザー音がある)場合があります。ディスプレイコーナーセンサーの性能を過信することなく、安全運転を心掛けてください。
- (4) 本書をよくお読み頂き、機能をご理解された上でご使用ください。

# 使用方法

## 1 システムを作動させる場合

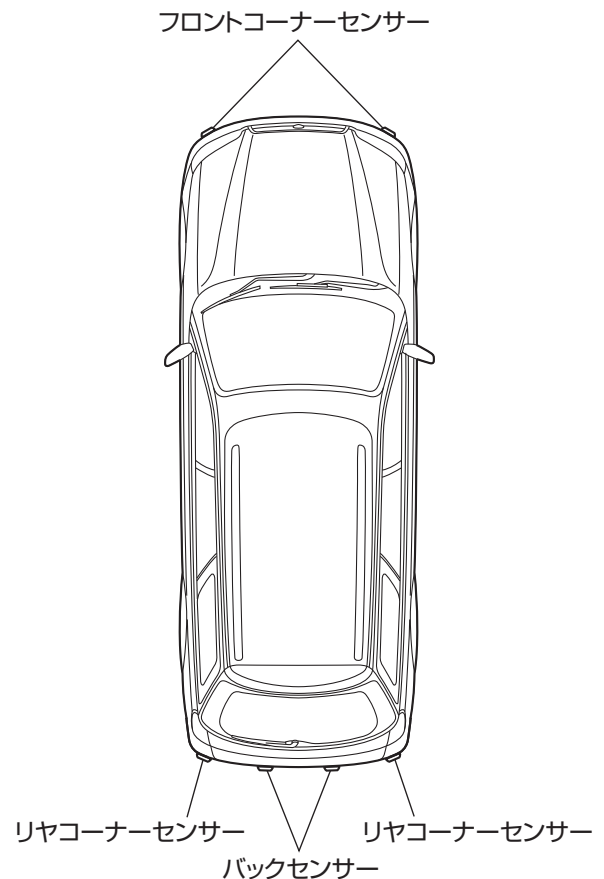
- (1) キースイッチをACC→ON位置(IGN)にしてください。
- (2) 約0.5秒間ブザーが鳴り、システムが正常であることをお知らせします。
- (3) センサーに異常がある場合、ディスプレイに下記画面にて異常センサーの箇所を「NG」と表示し、ブザーにて「ピピピピピッ」という継続音を10回(約10秒)鳴らしてお知らせします。  
※システム正常と判断した場合(2の場合)はこの画面は表示せず、通常画面(MFD又はオプションナビ本来画面)のままです。



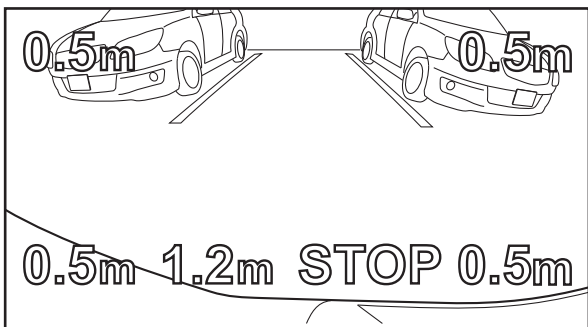
- ・(3)の場合、あるいは(2)で正常起動した後に障害物がないのにセンサーが検出しっぱなし(ディスプレイにセンサーの検出画面を表示し、ブザーが鳴りっぱなし)になるような場合、センサーの故障、断線、システムの故障が考えられますので、お求めのスバル特約店または、スバル特約店が指定した販売店にお問い合わせください。
- ・バッテリー上がりの防止の為、必ずエンジンを始動させた状態でご使用ください。

## 2 障害物へ近づいた場合

- (1) フロントコーナーセンサー(2ヶ所)有りモデルの場合  
キースイッチON、サイドブレーキOFF位置にある時、  
フロントコーナーセンサー(2ヶ所)から障害物までの距離が約60cm以内になると、ディスプレイにセンサー検出画面を表示し、ブザーでお知らせします。
- (2) リヤコーナーセンサー(2ヶ所)有りモデルの場合  
キースイッチON、シフトレバー「R」位置にある時、  
リヤコーナーセンサー(2ヶ所)から障害物までの距離が約60cm以内になると、ディスプレイにセンサー検出画面を表示し、ブザーでお知らせします。
- (3) バックセンサー(2ヶ所)有りモデルの場合  
キースイッチON、シフトレバー「R」位置にある時、  
バックセンサー(2ヶ所)から障害物までの距離が約150cm以内になると、ディスプレイにセンサー検出画面を表示し、ブザーでお知らせします。



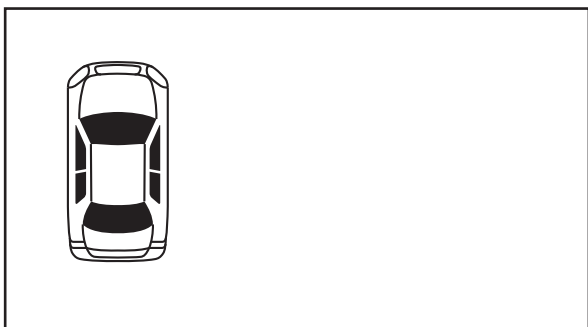
(3) センサー検出画面は下記の通りです。



カメラの画像を映出している時に各センサーが検出した場合、距離表示を重ねてディスプレイに表示します。  
距離値は0.1m単位で約30cmより近くなると「STOP」と表示します。



カメラの画像ではない時に各センサーが検出した場合、車の絵とその周囲に配置した超音波をイメージするセンシングマークを、ディスプレイに表示します。  
センシングマークでセンサーの検出位置を表します。  
又、その右側に最も近い位置にある障害物を検出したセンサーの検出距離を表示します。  
距離値は0.1m単位で約30cmより近くなると「STOP」と表示します。  
超音波の絵は「STOP」表示の時点滅、それ以外では点灯



カメラ接続がなく、シフトレバーが「R」の位置でセンサーが検出していない場合、左図のように車の絵を表示します。

(4) 障害物までの距離とブザーの鳴り方の関係は下記の通りです。

複数のセンサーが同時に反応した場合は最も近い距離を検出したセンサーに対してブザー音を鳴らします。

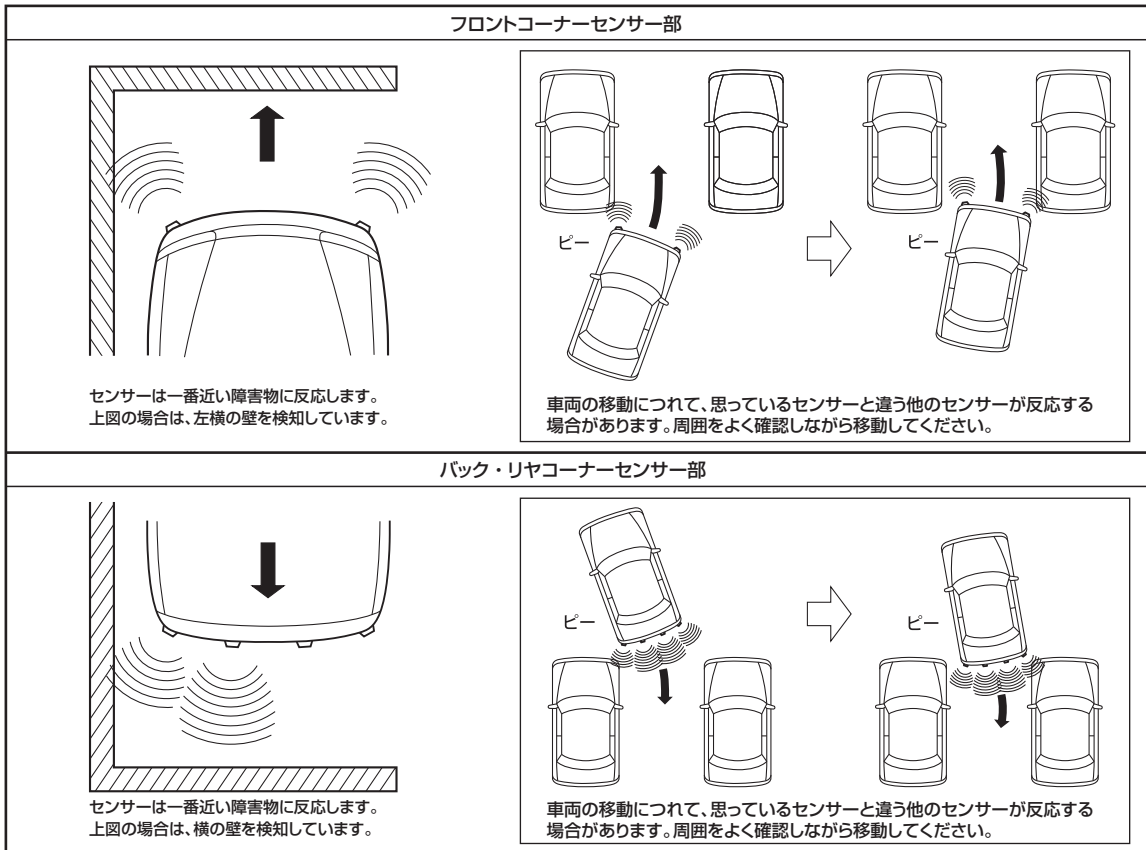
距離 (コーナーセンサー部)	距離 (バックセンサー部)	ブザー音	
約 30cm 以下	約 30cm 以下	ビー	連続音
約 30cm ~ 40cm	約 30cm ~ 40cm	ビビビ...	早い断続音
約 40cm ~ 50cm	約 40cm ~ 50cm	ビッビッビッ...	やや早い断続音
約 50cm ~ 60cm	約 50cm ~ 60cm	ピッ ピッ ピッ...	やや遅い断続音
—————	約 60cm ~ 100cm	ピッ ピッ ピッ...	遅い断続音
—————	約 100cm ~ 150cm	ピッ ピッ ピッ...	さらに遅い断続音



- ・車速が約12km/h以上になると検知を停止します。
- ・パーキングブレーキを引いている場合、検知を停止します。但し、シフトレバーが「R」の位置にある場合を除きます。
- ・リヤコーナーセンサーとバックセンサーの場合、シフトレバーが「R」の位置にないと検知を停止します。



- ・障害物との距離については「目安」であり、実際の距離とは異なる場合があります。
- ・ボールや細い木、段ボール、縁石、自転車等はセンサーが障害物として検知しにくい為、センサーとの距離が近くてもブザーが鳴らなかったり、極端に近づかないとブザーが鳴らない場合があります。また一度ブザーが鳴っても、さらに近づいていくと鳴らない場合もあります。(6ページ[使用上の注意]参照)



- ・障害物へはすぐ停止できるようなゆっくりした速度で接近し、上記を「目安」に自分で停止できる断続音のときに安全に停車してください。
- ・超音波センサーの原理上、障害物がセンサーに近すぎる場合は、距離の検知が難しくなり、ブザーの鳴り方が不安定となります。
- ・ラジオやテレビ放送の弱電界地域では障害物を感知した際に、ラジオやテレビからブザー音に同期してノイズ(もしくはブザー音)が聞こえることがあります。

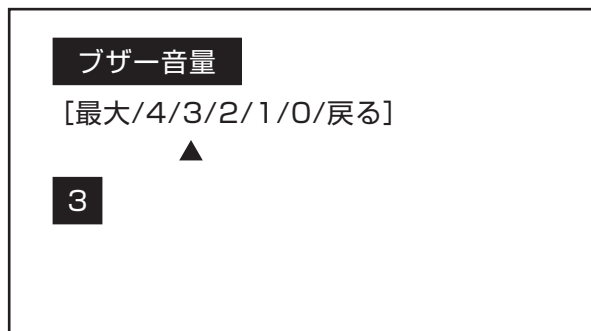
### 3 設定・診断機能

本製品は設定・診断機能を持ちます。設定画面をディスプレイに表示し、押しボタンスイッチ(以下スイッチ)で機能の選択、確定をすることができます。スイッチは本製品取り付け時にロアカバー付近に取り付けてあります。詳しくは取付要領書をご参照ください。各設定項目、設定内容は本製品の電源断後も保持されます。

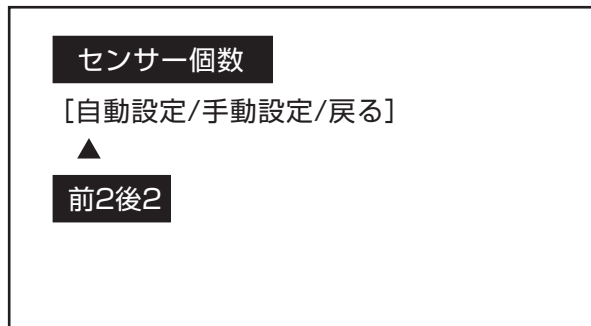
#### 設定・診断

- ▶ ブザー音量 [3]
- センサー個数 [前2後4]
- ディスプレイ [MFD]
- 接続診断1
- 接続診断2
- センサー診断
- 戻る

- (1) 通常画面(MFD又はオプションナビ本来の画面)又はセンサー検出時画面からスイッチを0.5秒以上押す(以下長押し)することで左図の設定・診断機能のメニュー画面に入ります。メニュー画面にてスイッチを0.5秒未満押し離す(以下短押し)することでカーソル位置が「ブザー音量」→「センサー個数」→「ディスプレイ」→「接続診断1」→「接続診断2」→「センサー診断」→「戻る」→「ブザー音量」と移動していきます。カーソルを合わせてスイッチを長押しすることで各サブメニューに入ります。カーソルが「戻る」の状態ですwitchを長押しすると通常画面又はセンサー検出時画面に戻ります。



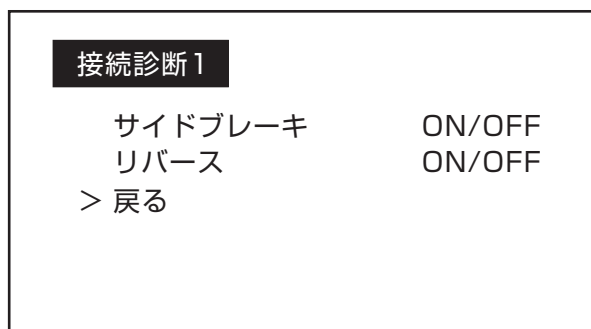
- (2) メニュー画面から左図のブザー音量設定画面に入ります。本設定でブザーの音量を設定できます。スイッチを短押しでカーソル移動して設定値を[最大/4/3/2/1/0/戻る]のいずれかに切り替え、スイッチの長押しをすることで設定変更を確定します。最大→0の順にブザー音が小さくなり、0の時ブザーは鳴らなくなります。カーソルが[戻る]の状態ですwitchを長押しするとメインメニューに戻ります。出荷時設定は[3]です。



- (3) メニュー画面から左図のセンサー個数設定画面に入ります。接続したセンサーの位置、個数を設定します。スイッチを短押しでカーソル移動して[自動設定]に切り替え、スイッチの長押しをすることで設定変更を確定します。出荷時設定は[前2後4]です。カーソルが[戻る]の状態ですwitchを長押しするとメインメニューに戻ります。



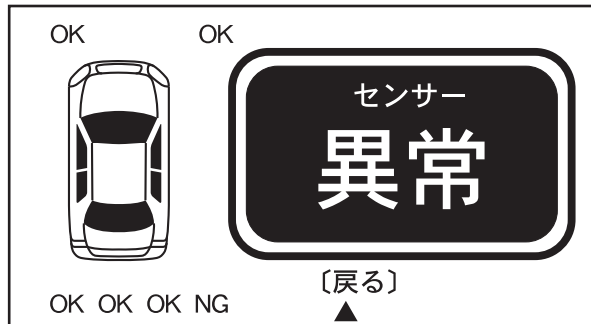
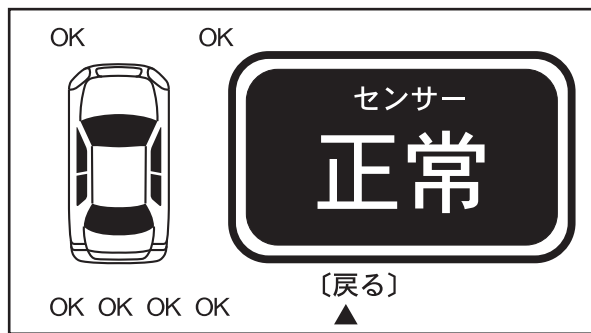
- (4) メニュー画面から左図のディスプレイ設定画面に入ります。本製品ではディスプレイとしてMFD(マルチファンクションディスプレイ)又はオプションナビを使用できます。スイッチを短押しでカーソル移動して設定値を[MFD/NAVI]のいずれかに切り替え、スイッチの長押しをすることで設定変更を確定します。カーソルが[戻る]の状態ですwitchを長押しするとメインメニューに戻ります。出荷時設定は[MFD]です。



- (5) メニュー画面から左図の接続診断1画面に入ります。サイドブレーキは、サイドブレーキの位置を表示します。リバースは、シフトレバーが「R」位置の時にON、「R」位置以外の時にOFFを表示します。設定する項目は、ありません。カーソルが[戻る]の状態ですwitchを長押ししてメニュー画面にお戻りください。



- (6) メニュー画面から左図の接続診断2画面に入ります。停車時に0を表示します。走行時にOKを表示します。設定する項目は、ありません。カーソルが[戻る]の状態ですwitchを長押ししてメニュー画面にお戻りください。



0.6m			∞
0.6m	0.5m	∞	∞

- (7) メニュー画面から左図のセンサー診断画面に入ります。全てのセンサーが正常な場合、左図の画面を表示します。スイッチを長押しするとメインメニューに戻ります。

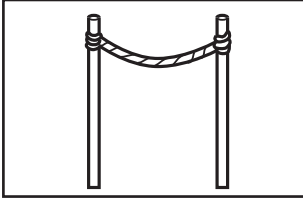
センサーに異常がある場合、左図の画面を表示します。異常を検出したセンサーに対しては「NG」と表示して異常のあるセンサーの箇所をお知らせします。スイッチを長押しするとメインメニューに戻ります。

通常画面(MFD又はオプションナビ本来の画面)又はセンサー検出時画面からスイッチを0.5秒以下押すことで左図の全センサーの一時動作画面に入ります。左図は、センサー個数が前2後4の場合です。カメラの画像を映出している場合、距離表示を重ねてディスプレイに表示します。サイドブレーキ、シフトレバーの位置に関わらず全センサーが約5秒、動作します。全センサーが約150cmまでの障害物を検出します。検出無しの場合は、∞無限大を表示します。また、表示する際、ブザーが鳴ります。

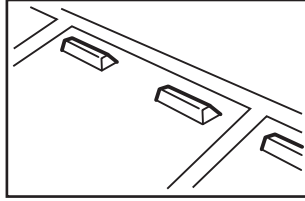


## 使用上の注意

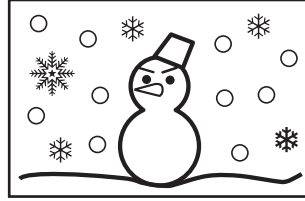
次のような場合、ブザーが鳴らない、または動作不安定になることがあります。ご使用の際は常に周囲の安全を確認の上、運転してください。



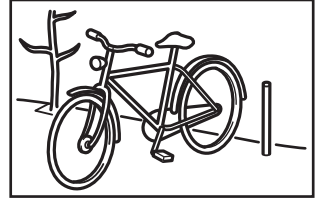
●ロープや金網、生け垣



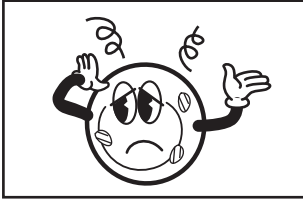
●縁石や花壇など高さの低いもの



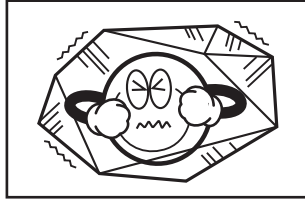
●雪、綿、スポンジなど音を吸収するもの



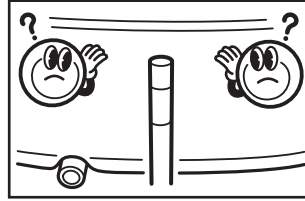
●細い木、ポール、自転車等細いもの



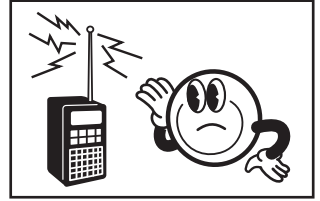
●センサー部に泥や雪等の異物が付着してセンサー部をふさいだ場合



●センサー部およびその周辺が凍結した場合



●センサー部とセンサー部の間に障害物が入った場合

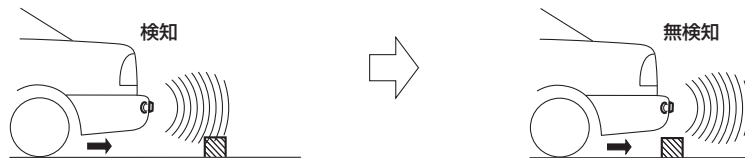


●超音波機器、エアブレーキ音等の超音波ノイズを受信した場合

- 人の着用している衣服の種類によっては、超音波を吸収してしまい、ブザーが鳴らない場合があります。
- 車やバイク、自転車などがセンサーの前を速い速度で通過した場合。
- センサーの検知方向に対して斜面の物体や、表面が滑らかな物等。
- 車のバッテリー電圧が下がっている場合。
- リバースランプバルブが球切れしている場合。

### ⚠注意

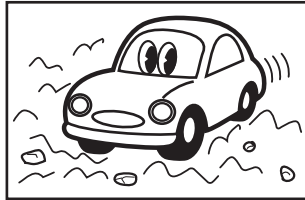
センサーより低い物体は、一度検知しても接近すると突然検知なくなることがあります。



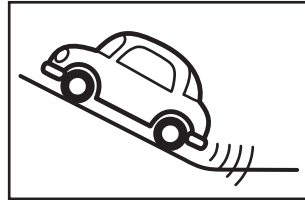
次のような場合、ブザーが鳴ることもありますが異常ではありません。



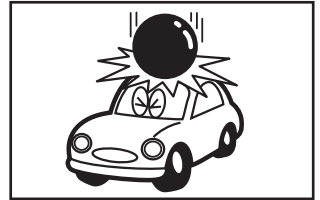
●草むらを行く場合



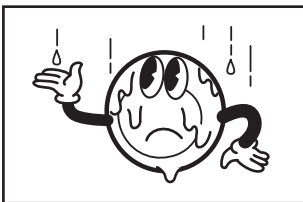
●砂利道、凸凹路、わだち路などを走行する場合



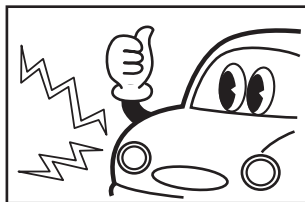
●斜面、坂道を行く場合



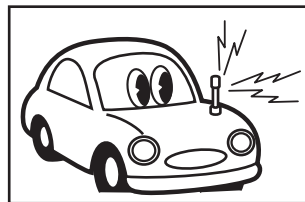
●過大積載重量などによってバンパーの高さが下がった場合



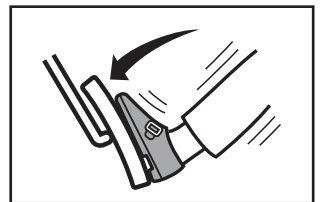
●センサー部に泥や雪等の異物が付着してセンサー部をふさいだ場合



●他車のホーン、トラックの排気ブレーキ、バイクの排気音を受信した場合



●無線機を使用した場合



●エンジン高回転でカラぶかした場合(エアコンのプロアモーターファンレベルが高い時)

- 無線機のアンテナやキャリア、アクセサリ等をセンサーの検知範囲に取り付けると、それ自体を検知することがあります。
- 車高が標準より低くなっている場合、路面を検知することがあります。

### ⚠注意

炎天下または寒冷時に長時間駐車していた場合は検知範囲が狭くなる場合があります。

## お手入れのしかた

センサー部の表面は塗装されています。よこれを取り除くときに爪でひっかいたりすると、塗装がはがれ、センサーの性能が著しく低下することがあります。また、センサーの上にステッカーを貼ったり、新たに塗装しないでください。センサー部に付着したよこれは柔らかい布でいいぬいに拭き取るか、水(水圧は弱く)で軽く洗い流してください。またセンサー部に強い衝撃を与えないでください。

### ⚠注意

ウォーターガン等による強い水圧をかけるとセンサーを破損しますので、絶対にしないでください。

## 「故障かな?」と思ったときは

「故障かな?」と思われる前に、もう一度確認してください。

異常が生じたときは、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検を行ってください。

現 象	点 検	処 置
障害物があるのに検出しない(ブザーが鳴らない、検出画面を表示しない)場合	キースイッチが「ON」になっていますか? パーキングブレーキを引いていませんか?	キースイッチを「ON」にし、パーキングブレーキを解除してください
	リヤコーナーセンサーとバックセンサーの場合シフトレバーが「R」の位置になっていますか?	リヤコーナーセンサーとバックセンサーの場合シフトレバーを「R」の位置にしてください
	車速が12km/h以上ではありませんか?	車速が12km/h以下の状態で確認してください
	障害物はセンサーの検知範囲内にありますか?	障害物をセンサーの検知範囲内まで近づけてください
	センサー部およびその周辺部が凍結していませんか?	氷を取り除いてください
	センサー部およびその周辺部に異物はありますか?	異物を取り除いてください
	障害物はセンサーが検知できるものですか?	7ページ「使用上の注意」を参照してください
	近くに超音波を出す装置(オートバイ等)はありませんか?	超音波の発生源から離してください
障害物がないのに検出する(ブザーが鳴る、検出画面を表示する)場合	もう一度、障害物がないか確認してください。	———
	センサー部およびその周辺部に異物はありますか?	異物を取り除いてください
	センサーの検知範囲内にアクセサリー、キリアを取り付けていませんか?	アクセサリーを取り除いてください
	ホイールのインチアップ等で外径が変化していませんか?	車両標準の部品に戻してください
	車両標準装着以外のサスペンション等を装着していませんか?	車両標準の部品に戻してください
	過大積載重量によって、極端に車高が下がっていませんか?	荷物を軽くし、車高に戻してください
	タイヤの空気圧は適正値ですか?	空気圧を適正値にしてください
	近くに超音波を出す装置(オートバイ等)はありませんか?	超音波の発生源から離してください
キースイッチを「ON」にしてもブザーが鳴らない場合	システムの故障が考えられます	スバル特约店または、スバル特约店が指定した販売店で点検を受けてください
ブザー音が「ピピ…ピピ…」と不規則に鳴る場合	センサーの断線、もしくはシステムの故障が考えられます	スバル特约店または、スバル特约店が指定した販売店で点検を受けてください



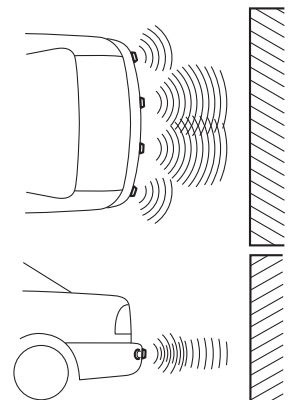
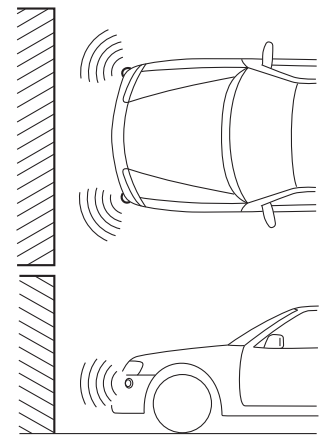
**注意**

上記の点検をしても直らない場合はお求めのスバル特约店または、スバル特约店が指定した販売店で点検を受けてください。

## 仕 様

定格電圧・電力	DC12V・4W
作 動 温 度	-30~+80℃
障害物の探知方式	送受一体型超音波検知方式
作 動 条 件	次の条件がすべて成立したとき検知作動する。 ①キースイッチが「ON」位置(IGN) ②車速が12km/h以下 ③パーキングレバーが解除されている。但し、シフトレバーが「R」位置の時を除く ④リヤコーナーセンサーとバックセンサーの場合はシフトレバーが「R」位置の時
警 報 方 式	ディスプレイへの表示と ブザー(電子ブザー 1050Hz)による通知
検 知 範 囲	コーナセンサー 距離: 約60cm以内(センサー部より) 角度: 水平方向 約90°前後(センサー部より50cmの位置にて) 垂直方向 約60°前後(センサー部より50cmの位置にて)
	バックセンサー 距離: 約1.5m以内(センサー部より) 角度: 水平方向 約62°前後(センサー部より1mの位置にて) 垂直方向 約32°前後(センサー部より1mの位置にて)
※注	

※注: 検知範囲は大きい(壁など)の障害物がセンサーの真正面にある場合での目安値です。  
7ページ「使用上の注意」内に記されているような場合は、距離、及び角度が極端に変化します。



**注意**

- ・酷暑時や厳寒時の場合、検知範囲が狭くなることがあります。
- ・超音波を反射しにくいもの、または障害物の形状によっては検知しないことがあります。
- ・センサー部とセンサー部の間は、検知できないことがあります。